

事務事業名	芳賀地方芸術祭運営委員会参画事業				担当	教育委員会 文化課 文化振興係		
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			電話番号	0285-83-7731		
施策名	6	文化芸術の振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和25 年度～）		
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	4社会教育費	8芸術文化振興		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	芸術の普及奨励と芳賀郡市民の豊かな文化生活の向上を図ることを趣旨として、昭和25年度から開始し、平成28年度で66回目を迎えた。芳賀地方芸術祭運営委員会の主催で、詩、短歌、俳句、川柳、ギャラリー（写真、日本画、洋画、書道）、演劇、民舞吟、音楽、図工・美術、書写書道の10部門について、芳賀郡内1市4町と3小中学校事務局で、開催担当を分けて、9月～11月にかけて開催する。今年度から2年交代で、各市町が持ち回りで事務局を担当する。29年度は音楽部門がなくなり、9部門となる。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）		⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移																																																
28年度実績 10部門全部に参加した。真岡市は、詩部門を担当 詩部門 ・審査会：10月7日（金）市公民館 ・表彰式・大会：11月19日（土）市民会館小ホール 演劇部門 ・大会：9月25日（日）市民会館大ホール、市公民館 ・表彰式：10月26日（水）市民会館小ホール 29年度計画 今年度から運営委員会の事務局を市町持ち回りで担当することとなり、29・30年度は真岡市が担当。 9部門の内、ギャラリー部門を真岡市が担当する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>25年度(実績)</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 担当部門数</td> <td>部門</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>イ 開催日数</td> <td>日</td> <td>23</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>23</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	ア 担当部門数	部門	2	1	2	2	1	イ 開催日数	日	23	21	21	23	21	ウ							エ							オ						
名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)																																												
ア 担当部門数	部門	2	1	2	2	1																																												
イ 開催日数	日	23	21	21	23	21																																												
ウ																																																		
エ																																																		
オ																																																		
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等		⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移																																																
芳賀郡市民 芳賀地方芸術祭運営委員会		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>25年度(実績)</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 芳賀郡市民数</td> <td>人</td> <td>146,372</td> <td>145,303</td> <td>144,445</td> <td>142,409</td> <td>141,741</td> </tr> <tr> <td>イ 芳賀地方芸術祭運営委員会</td> <td>回</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	ア 芳賀郡市民数	人	146,372	145,303	144,445	142,409	141,741	イ 芳賀地方芸術祭運営委員会	回	1	1	1	1	1	ウ							エ							オ						
名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)																																												
ア 芳賀郡市民数	人	146,372	145,303	144,445	142,409	141,741																																												
イ 芳賀地方芸術祭運営委員会	回	1	1	1	1	1																																												
ウ																																																		
エ																																																		
オ																																																		
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）		⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移																																																
芳賀郡市民の文化芸術活動を向上させる。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>25年度(実績)</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 出品点数</td> <td>点</td> <td>12,724</td> <td>12,660</td> <td>12,989</td> <td>12,335</td> <td>12,400</td> </tr> <tr> <td>イ 真岡市民の出品点数</td> <td>点</td> <td>6,289</td> <td>6,411</td> <td>6,625</td> <td>6,290</td> <td>6,324</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	ア 出品点数	点	12,724	12,660	12,989	12,335	12,400	イ 真岡市民の出品点数	点	6,289	6,411	6,625	6,290	6,324	ウ							エ							オ						
名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)																																												
ア 出品点数	点	12,724	12,660	12,989	12,335	12,400																																												
イ 真岡市民の出品点数	点	6,289	6,411	6,625	6,290	6,324																																												
ウ																																																		
エ																																																		
オ																																																		
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか）		⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移																																																
文化活動への住民参加の拡充と芸術文化の普及		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>25年度(実績)</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 文化芸術に関心・興味のある市民の割合</td> <td>%</td> <td>62.9</td> <td>64.6</td> <td>64.2</td> <td>62.9</td> <td>62.9</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	ア 文化芸術に関心・興味のある市民の割合	%	62.9	64.6	64.2	62.9	62.9	イ							ウ							エ							オ						
名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)																																												
ア 文化芸術に関心・興味のある市民の割合	%	62.9	64.6	64.2	62.9	62.9																																												
イ																																																		
ウ																																																		
エ																																																		
オ																																																		
(2) 総事業費の推移		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)																																											
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0																																											
		国庫支出金	千円	0	0	0	0																																											
		県支出金	千円	0	0	0	0																																											
		地方債	千円	0	0	0	0																																											
		その他	千円	0	0	0	0																																											
		一般財源	千円	216	216	216	242																																											
	事業費計(A)		千円	216	216	216	242																																											
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3																																											
		延べ業務時間	時間	480	480	480	550																																											
		人件費計(B)	千円	1,951	2,026	2,011	1,993																																											
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,167	2,242	2,227	2,235																																												

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	芳賀郡内の文化芸術の振興のため、昭和25年度から開始した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正に伴い、総合教育会議の二重設置を避け、市町の独自性を重視するため、主に事務局を担当していた芳賀地区広域行政事務組合教育委員会が平成27年度末をもって解散した。 平成28年度は芳賀地区教育研究協議会がその事務を引き継ぎ、平成29年度以降は、事務局も含め担当部門をローテーションして実施していく。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 1市4町が交流することにより、更なる文化の向上が図られる。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 1市4町の文化芸術の向上と交流を図るために必要である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 1市4町の文化芸術を対象としているものである。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 全部門に参画している。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 芳賀都市の芸術発表の場が失われ、文化芸術の向上が図れない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 事業費は各市町の最低限の負担金で実施している。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限で対応している。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 文化芸術の普及・振興を図るために、行政で援助を行っており、受益者負担はない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							